

平成16年11月8日

各 位

関 西 大 学  
株式会社りそな銀行

## 「地域社会発展」のための包括的連携に係る協定締結について

本日、関西大学（学長 河田 悌一）とりそな銀行（社長 野村 正朗）は、包括的な連携に関する協定を締結致しました。

本協定は、関西大学とりそな銀行が広範囲の連携による相互協力を行い、人的・知的資源を積極的に交流させることで、「**地域社会の発展への貢献**」を行うことを目的としております。関西大学の研究成果の地域社会への還元、りそな銀行のお取引先へのサービスの充実を図ることに加えて、学生には、就業体験の機会や実地教育の場を提供でき、また従来銀行が不得意としていた若年層に対するPR効果も期待できるものと考えています。

本協定の締結により、関西大学とりそな銀行は、従来以上に産学連携の推進や教育内容の充実、地域社会・経済の発展・活性化に積極的に取り組んで参ります。

### 【相互協力にかかる具体的施策】

#### 営業企画への参加

りそな銀行が行う営業企画に関西大学の学生が参加し、学生の感性を取り入れた営業施策の立案や広告物の作成を行います。

学生にとって、銀行の営業企画に関わるという貴重な就業体験の機会が得られるとともに、銀行にとっては新たな感性を取り入れることにより若年層（学生）向けの認知度向上を図ります。

#### 産学連携

りそな銀行の取引先企業からの産業技術に関する相談に対し、関西大学の「産学連携センター」を紹介致します。

また、取引先企業の経営者・従業員の皆さまと大学の研究者とがより身近に接点を持てるよう法律・経済・経営などの幅広い分野でのセミナーや交流会などを積極的に開催し、産学連携の実現を目指します。

## 法科大学院のカリキュラム（「リーガルクリニック」）の活用

法律のご相談に関しては、関西大学が本年4月に開設した法科大学院のカリキュラムの一つである「リーガルクリニック」を、りそな銀行のお客さまにご紹介致します。弁護士に依頼するほど難しい問題ではないものの、少し相談に乗って欲しいといった、お取引先のニーズに大学と銀行が連携し無料でお応えいたします。

## ビジネスインターンシップ受入先の紹介

関西大学の学生ビジネスインターンシップについて、りそな銀行が「りそな総合研究所」の機能を活用し、研究所の会員企業の中でも学生の受入に積極的な企業を紹介致します。大企業中心であった従来型のビジネスインターンシップ制度とは異なり、中小企業の経営者の方から直接、企業経営や技術開発、起業体験などを学ぶことが可能となります。

## 学生アルバイトの採用

株式会社ナジック・アイ・サポートが運営する「学生アルバイト情報ネットワーク」を通じて、りそな銀行大阪北地域（注）を中心に、関西大学の学生アルバイトを数十名規模の人員で募集いたします。りそな銀行では昨年の12月以降、学生アルバイトの採用を実施しており、すでに11ヶ店で31名の学生がロビーでの案内係や内部事務の補助係として活躍しております。

（注）りそな銀行大阪北地域...梅田支店、梅田北口支店、野田・西野田支店、福島支店、南森町支店、

天六・天六南支店、都島支店、京阪京橋支店、城東支店の9ヶ店で構成する地域

## その他

相互が開催する各種セミナーや研修などに、互いに講師を派遣致します。

## 【今後の展開について】

上記の各種施策以外にも、今後、本協定の趣旨に鑑み、双方が連携することで有益であると思われる事項については積極的に推進して参ります。具体的には、大学発ベンチャーの技術評価支援や起業支援などの実現に向けて検討中であります。

以 上